

# 地域とともにある学校 コミュニティ・スクールが全ての市立学校・幼稚園で始まります

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は地域とともにある学校を作るために国が導入を進めている制度です。市では平成28年度に塩浜学園で導入したことを皮切りに、平成30年度には25校・1園に導入し、地域と学校の連携を進めてきました。4月からはこれまでの取り組みをさらに進展させ、全ての市立学校・幼稚園に同制度を導入し、未来ある子どもたちを育てていきます。  
☎383-9386学校地域連携推進課



## 地域の声があいさつ運動につながりました

「おはようございます」。「あいさつし隊」のたすきをかけた子どもたちが、通りがかるみなさんに元気なあいさつをしています。これは、第六中学校ブロック(第六中学校・鬼高小学校・稲荷木小学校)で行われている朝のあいさつ運動の様子です。活動を始めたきっかけは、地域住民の「最近子どもたちのあいさつが少なくなった」という声です。明るいあいさつは地域を元気にする効果があり、地域のみなさんに子どもの顔を覚えてもらうことは、いざというときの安全にもつながります。このような、育てたい子ども像や教育の目標を保護者・地域・学校が共有し、実現のために協働する仕組みがコミュニティ・スクールです。



## 第六中学校ブロックにおけるコミュニティ・スクールの取り組み



あいさつ運動のやり方は、3校合同の学校運営協議会で細かく話し合われました。



稲荷木小学校見守り隊による日々の安全指導の様子です。地域の方で、通学する子どもたちの安全を見守ります。



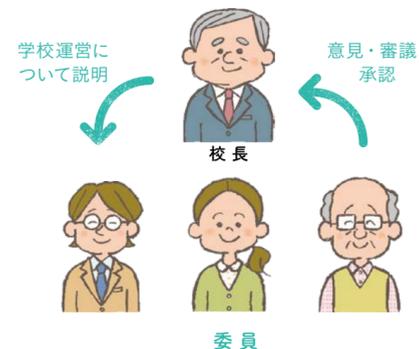
日頃の活動が評価され、「平成30年度『地域学校協働活動』推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞しました。

## 市川版コミュニティ・スクールはこんな仕組みです

「学校運営協議会」「地域学校協働本部」の二つの組織で、地域の力を教育に生かしたり、子どもたちが地域の行事に関わったりするなど、人と人のつながりをつくっていくのが市川版コミュニティ・スクールです。

### 方向性を定める会議体 学校運営協議会

学校(幼稚園)の教育をどう進めるかを話し合います。



教育委員会が任命した地域住民・保護者代表など

### 学校運営協議会の主な役割

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認します
- ② 学校運営に関する意見を述べるができます
- ③ 教職員の任用について意見を述べるができます
- ④ 学校関係者の評価を行います

↑ 意見 ↓ 協議結果の情報提供

### 活動を支えるネットワーク 地域学校協働本部

学校(幼稚園)の応援団として教育活動や学校運営をサポートします。



委員  
地域学校協働活動推進員・地域住民・保護者のボランティアなど

子どもの学習をサポート  
授業への協力や地域交流など

学校運営をサポート  
教材作りや通学時の安全補助など

課外活動をサポート  
放課後活動や地域行事など

⇄ 参画・協働

## 地域住民・保護者

### コミュニティ・スクール活動紹介



### 第八中学校 放課後カルチャー

手芸や将棋などが得意な方を講師に招き、月に1回放課後に講座を行っています。



### 菅野小学校 キャリア教育

地域の人脈を生かし、さまざまな業種の方が講師として参加しました。

### お話を伺いました



第六中学校 学校運営協議会会長 柳澤和子さん

### 学校が変わってきたと感じます

子どもはもう第六中学校を卒業していますが、学校運営協議会の会長として学校に関わっています。私が保護者だった頃は、学校と地域の関わり方は放課後や休日など学校の外での活動が主でした。今では地域住民が平日の授業にも参加するなど、活動が学校の中にも入ってきて、より学校と地域の距離が近づいていると感じます。学校を取り巻く環境も変化しているので、地域の力も教育に生かせれば良いなと感じています。

### 子どもたちのより良い成長のために

変化が激しく予測困難な未来を子どもたちがたくましく生き抜けるように、市ではコミュニティ・スクールの取り組みをいっそう推進していきます。地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくために、ご理解とご協力をお願いします。